



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月13日

上場会社名 HOUSEI株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5035 URL https://www.housei-inc.com
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 管祥紅
 問合せ先責任者(役職名) 取締役兼執行役員管理本部長 (氏名) 羽入友則 (TEL) 03(4346)6600
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	3,391	13.6	98	△1.2	137	11.5	89	△7.7
2022年12月期第3四半期	2,986	—	99	—	123	—	96	—

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 164百万円(△22.7%) 2022年12月期第3四半期 212百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	12.64	—
2022年12月期第3四半期	15.74	15.65

- (注) 1. 2022年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社は2022年7月28日に東京証券取引所グロス市場に上場したため、新規上場日から2022年12月期第3四半期連結会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
2. 2023年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有しないため、記載しておりません。
3. 当社は2021年12月期第3四半期については連結財務諸表を作成していないため、2022年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	4,583	3,175	68.8
2022年12月期	4,227	2,954	69.9

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 3,155百万円 2022年12月期 2,954百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,793	12.7	281	52.4	312	57.3	242	79.9	34.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 2社 (社名) アイード株式会社、除外 0社 (社名)
SEVEN&EIGHT SYSTEM株式会社

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8 「(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年12月期3Q	7,094,200株	2022年12月期	7,026,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	一株	2022年12月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年12月期3Q	7,056,727株	2022年12月期3Q	6,142,376株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報を基に作成しており、実際の業績は、今後、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ポストコロナにより経済活動が正常化し、個人消費の回復、海外渡航制限の緩和などが進んだ結果、2023年9月調査の日銀短観でも、大企業製造業は2四半期連続で景況感が改善し、大企業非製造業では6四半期連続で景況感が改善するなど、回復傾向が鮮明になっております。

当社グループが属する情報サービス業においても、企業の競争力向上のためにはDX（デジタル・トランスフォーメーション）化を含むIT投資は不可欠であり、企業のIT投資意欲は引き続き堅調に推移しているものとみております。

このような経営環境のもと、当社グループは顔認証付きガレージゴルフの発売開始、機器の寿命予測に関する特許取得など、将来に向けた投資を積極的に行ってまいりました。また、エンターテインメント業界におけるITサービス、IP斡旋などを事業内容とするSEVEN&EIGHT SYSTEM株式会社を子会社として2023年4月5日付けで新規設立し、さらに英語スピーキング評価AI「CHIVOX(R)」を活用したビジネスデベロップメントを事業内容とするアイード株式会社の全株式を2023年4月28日付けで取得し、子会社化いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループ全体の連結売上高は、3,391,425千円と前年同四半期と比べ404,943千円（13.6%増）の増収となりました。増収に伴い売上原価は前年同四半期と比べ321,363千円（14.7%増）増加し、売上総利益については、前年同四半期より83,580千円（10.4%増）の増加となりました。販売費及び一般管理費は前年同四半期と比べ84,739千円（12.1%増）増加し、連結営業利益は98,672千円と、前年同四半期と比べ1,159千円（1.2%減）の減益となりました。経常利益については、主に上場関連費用の減少、為替差益及び受取利息の増加により、137,855千円と前年同四半期と比べ14,268千円（11.5%増）の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、前年と比較すると、税率の低い中国子会社で計上する税金等調整前四半期純利益の割合が減少し、税率の高い当社で計上する税金等調整前四半期純利益の割合が増加したことなどにより、89,228千円と前年同四半期と比べ7,432千円（7.7%減）の減益となりました。

セグメント別内訳は次の通りです。

① 情報システム事業

情報システム事業は当社、方株（武漢）科技有限公司、SEVEN&EIGHT SYSTEM株式会社及びアイード株式会社で展開しております。売上高は前年同四半期と比べ368,590千円増の3,259,825千円（12.7%増）、営業利益は前年同四半期と比べ5,839千円減の133,235千円（4.2%減）となりました。

売上高の内訳は、メディア事業1,781,939千円（前年同四半期比18.6%増）、プロフェッショナルサービス事業1,345,937千円（前年同四半期比0.1%増）、プロダクト推進事業65,973千円（前年同四半期比97.8%増）、その他65,974千円（前年同四半期比500.9%増）であります。なお、前年同四半期は進捗度に応じて収益を認識する未完成プロジェクト売上高の増減をその他に含めて計上しておりましたが、当期より案件ごとに各事業に配分して計上する方法に変更いたしました。上記の前年同四半期比は、前年同四半期の実績を当期と同様の計上方法に変更したものと比較しております。

② 越境EC事業

越境EC事業は24ABC株式会社で展開しております。売上高は前年同四半期と比べ36,352千円増の131,600千円（38.2%増）、営業損失は34,563千円（前年同四半期は39,243千円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、4,583,645千円と前連結会計年度末から356,243千円増加しました。

流動資産は、主に契約資産が279,095千円、受取手形及び売掛金が158,140千円、その他が38,302千円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が510,941千円減少したことなどにより6,884千円減少して2,853,474千円となりました。なお、第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度においては独立掲記していた前渡金、前払費用、短期貸付金をその他に組み替えております。

固定資産は、主にのれんが291,148千円、有形固定資産が47,138千円、ソフトウェアが22,733千円それぞれ増加したことなどにより363,580千円増加して1,730,171千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末から134,981千円増加して1,408,233千円となりました。

流動負債は、主に1年内返済予定の長期借入金が35,030千円、その他が132,250千円それぞれ増加したことなどにより157,861千円増加して883,530千円となりました。なお、第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度においては独立掲記していたリース債務、未払金、未払費用、前受収益をその他に組み替えております。

固定負債は、主に長期借入金が17,190千円減少したことなどにより22,880千円減少して524,702千円となりました。なお、第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度においては独立掲記していたリース債務をその他に組み替えております。

(純資産)

純資産の部では、資本金が24,176千円、資本剰余金が24,176千円、利益剰余金が68,150千円、為替換算調整勘定が83,620千円、それぞれ増加したことなどにより、当第3四半期連結会計期間末における純資産の部は221,262千円増加して3,175,412千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月13日に2022年12月期決算短信にて公表しました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,575,552	1,064,611
受取手形及び売掛金	796,292	954,433
契約資産	304,437	583,533
商品及び製品	12,910	26,097
仕掛品	50,465	66,279
原材料及び貯蔵品	483	49
その他	120,559	158,862
貸倒引当金	△342	△391
流動資産合計	2,860,358	2,853,474
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	815,031	887,255
工具、器具及び備品	212,634	237,786
減価償却累計額	△204,590	△254,828
有形固定資産合計	823,076	870,214
無形固定資産		
のれん	405,036	696,185
ソフトウェア	14,975	37,709
無形固定資産合計	420,012	733,894
投資その他の資産		
投資有価証券	8,673	10,712
長期貸付金	853	—
繰延税金資産	48,854	49,159
破産更生債権等	81,000	81,000
長期前払費用	41,001	27,702
敷金及び保証金	19,079	33,447
その他	5,040	5,040
貸倒引当金	△81,000	△81,000
投資その他の資産合計	123,501	126,062
固定資産合計	1,366,590	1,730,171
繰延資産		
社債発行費	452	—
繰延資産合計	452	—
資産合計	4,227,402	4,583,645

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	176,312	173,388
1年内償還予定の社債	30,000	—
1年内返済予定の長期借入金	100,200	135,230
未払法人税等	34,090	52,247
賞与引当金	86,264	91,556
受注損失引当金	6,202	6,258
その他	292,598	424,849
流動負債合計	725,668	883,530
固定負債		
長期借入金	375,031	357,841
退職給付に係る負債	153,796	152,584
その他	18,755	14,276
固定負債合計	547,583	524,702
負債合計	1,273,251	1,408,233
純資産の部		
株主資本		
資本金	631,965	656,142
資本剰余金	1,103,443	1,127,620
利益剰余金	1,089,081	1,157,231
株主資本合計	2,824,490	2,940,994
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	471	1,886
為替換算調整勘定	129,188	212,808
その他の包括利益累計額合計	129,660	214,694
非支配株主持分	—	19,723
純資産合計	2,954,150	3,175,412
負債純資産合計	4,227,402	4,583,645

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	2,986,482	3,391,425
売上原価	2,184,063	2,505,426
売上総利益	802,419	885,999
販売費及び一般管理費	702,587	787,327
営業利益	99,831	98,672
営業外収益		
受取利息	3,777	5,822
為替差益	31,267	34,205
補助金収入	3,690	3,489
その他	841	350
営業外収益合計	39,577	43,867
営業外費用		
支払利息	4,895	4,231
上場関連費用	9,359	—
社債発行費償却	1,566	452
営業外費用合計	15,821	4,684
経常利益	123,586	137,855
特別利益		
事業構造改善引当金戻入額	19,041	—
特別利益合計	19,041	—
特別損失		
役員退職労金	19,200	—
固定資産除却損	152	431
特別損失合計	19,352	431
税金等調整前四半期純利益	123,275	137,423
法人税、住民税及び事業税	37,407	58,801
法人税等調整額	△10,792	△929
法人税等合計	26,615	57,871
四半期純利益	96,660	79,551
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△9,676
親会社株主に帰属する四半期純利益	96,660	89,228

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	96,660	79,551
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	1,414
為替換算調整勘定	116,214	83,620
その他の包括利益合計	116,214	85,034
四半期包括利益	212,874	164,586
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	212,874	174,262
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△9,676

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月31日付で、第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ24,176千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が656,142千円、資本剰余金が1,127,620千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結貸借対照表関係)

(1)前連結会計年度において、独立掲記しておりました「流動資産」の「前渡金」、「前払費用」、「短期貸付金」は、重要性が乏しいため、第1四半期連結会計期間より「その他」に含めて表示しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「前渡金」1,151千円、「前払費用」54,826千円、「短期貸付金」1,160千円、「その他」63,421千円は、「その他」120,559千円として組み替えております。

(2)前連結会計年度において、独立掲記しておりました「流動負債」の「リース債務」、「未払金」、「未払費用」、「前受収益」は、重要性が乏しいため、第1四半期連結会計期間より「その他」に含めて表示しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「リース債務」1,177千円、「未払金」28,888千円、「未払費用」81,233千円、「前受収益」123,679千円、「その他」57,619千円は、「その他」292,598千円として組み替えております。

(3)前連結会計年度において、独立掲記しておりました「固定負債」の「リース債務」は、重要性が乏しいため、第1四半期連結会計期間より「その他」に含めて表示しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「固定負債」に表示していた「リース債務」4,889千円、「その他」13,866千円は、「その他」18,755千円として組み替えております。

(四半期連結損益計算書関係)

第1四半期連結会計期間の期首より、費目別に区分掲記しておりました「販売費及び一般管理費」について、連結損益計算書の一覧性及び明瞭性を高めるため、「販売費及び一般管理費」として一括掲記する方法に変更しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結損益計算書の組替を行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	連結財務諸表計上額 (注)
	情報システム	越境EC	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,891,234	95,248	2,986,482	2,986,482	—	2,986,482
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,891,234	95,248	2,986,482	2,986,482	—	2,986,482
セグメント利益又は損失(△)	139,074	△39,243	99,831	99,831	—	99,831

(注) セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	連結財務諸表計上額 (注)
	情報システム	越境EC	計			
売上高						
外部顧客への売上高	3,259,825	131,600	3,391,425	3,391,425	—	3,391,425
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,259,825	131,600	3,391,425	3,391,425	—	3,391,425
セグメント利益又は損失(△)	133,235	△34,563	98,672	98,672	—	98,672

(注) セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「情報システム」セグメントにおいて、2023年4月28日付でアイード株式会社の全株式を取得いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において266,359千円であります。

なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において、取得価額の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社は、売上高をセグメント情報の報告セグメントの区分に基づき分解するとともに、情報システムセグメントについては、さらに契約類型により分解しております。

前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント		
	情報システム	越境EC	計
請負	756,878	—	756,878
プロダクト	341,154	—	341,154
準委任及び保守	1,684,008	—	1,684,008
その他	109,192	95,248	204,440
顧客との契約から生じる収益	2,891,234	95,248	2,986,482
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	2,891,234	95,248	2,986,482

当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント		
	情報システム	越境EC	計
請負	1,194,982	—	1,194,982
プロダクト	138,956	—	138,956
準委任及び保守	1,779,690	—	1,779,690
その他	146,195	131,600	277,795
顧客との契約から生じる収益	3,259,825	131,600	3,391,425
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	3,259,825	131,600	3,391,425